

半島地域における防災先進技術の実装に係る公募概要

※本資料は、本事業の公募に係る概要資料です。
詳細な公募要件等は、公募開始後HP等で公開いたします。

業務受託者	株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング一部・社会システムコンサルティング二部 hanto-bousai-2026@nri.co.jp 担当：西崎、窪田、渡邊
業務委託者	国土交通省国土政策局 地域振興課半島振興室

能登半島地震を契機に「半島防災」が法定化される中、本事業では民間の技術等を活用した実証を通じて半島地域の防災力向上を目指します

本事業の背景

- 半島振興対策実施地域（以下、半島地域）の重要性
 - 全国23の半島地域（22道府県194市町村、面積約41,917km²、人口約377万人）は、国土保全・自然環境保護・エネルギー・食料供給など、国益を守る重要な役割を担っている。
- 令和6年能登半島地震の教訓
 - 令和6年能登半島地震発生時には、インフラ損壊に加え、半島特有の地理的制約に起因するライフラインの途絶・集落の孤立が深刻化し、半島地域特有の防災面の脆弱性が改めて顕在化した。
- 令和7年4月 半島振興法改正
 - 令和7年4月の半島振興法改正により「半島防災」の概念が新たに追加された。今後、各道府県による半島振興計画の策定を経て、即効性のあるソフト事業を中心とした取組を速やかに推進する必要がある。



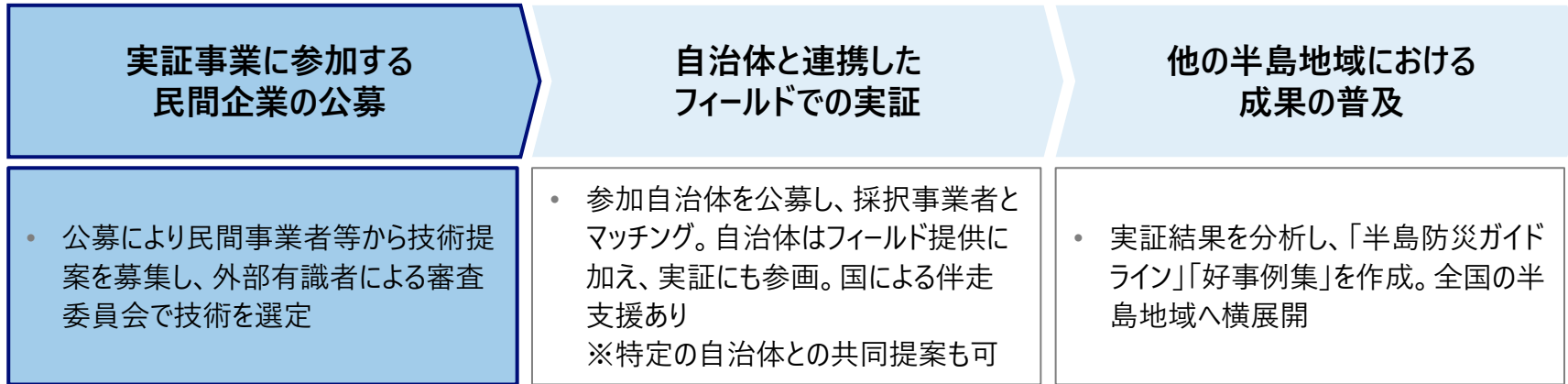
本事業の目的

- 民間事業者等の技術・ノウハウ・連携スキームを活用し、モデル地域での実証調査を通じて、半島地域の防災力向上に資する実践的な知見を蓄積・全国展開することを目的とする。

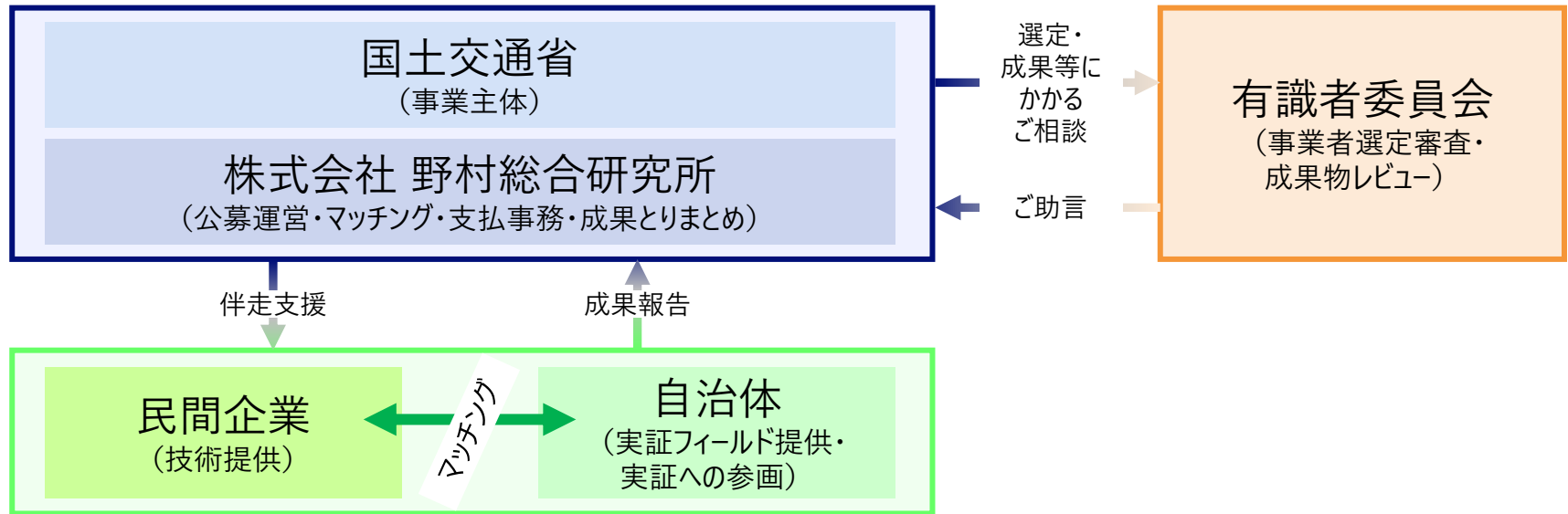
本事業の流れ

実証事業の公募 ⇒ 有識者委員会を通じた採択 ⇒ フィールド選定 ⇒ 実証 ⇒ 成果とりまとめの流れで本事業を行います。

本事業の大まかな流れ



関係主体およびその役割



公募概要

半島地域の防災課題の解決に資する実証事業を幅広く募集いたします

事業の目的・背景

- **背景**：令和6年能登半島地震を踏まえ、半島地域特有の防災面の脆弱性対策が急務
- **目的**：民間企業やNPO等の技術・ノウハウを活用した実証調査を実施し、その知見をガイドライン等として全国の半島地域へ横展開（社会実装）する

応募資格・対象要件

- **応募資格**：防災促進に寄与する技術・ノウハウ・連携スキーム等を持つ民間事業者、NPO等
- **主な要件**：
 - ✓ **実証期間内に具体的な効果検証が可能**であること
 - ✓ **社会実装や他地域への展開可能性**が見込まれること
 - ✓ **半島地域の防災課題解決に資すること**
※半島地域の地理的制約（三方を海に囲まれる、幹線道路が限定的であること等）を踏まえた課題であることが望ましい
 - ✓ **できる限り即効性のある事業を中心とする**(大規模なハード整備は対象外)

対象テーマ例・実証フィールド

- **想定テーマ例**：
 - **物流・アクセス確保**: 大型物流ドローン、水陸両用車、悪天候・夜間観測可能なSAR衛星等
 - **ライフライン対応**: 建機の遠隔操作、代替通信（衛星通信等）、自律分散型水供給等
 - **長期避難生活対応**: 移動式コンテナホテル、遠隔医療、IoTウェアラブル等
 - **その他**: 多言語対応防災アプリ、防災教育VR、マイナンバー連携の罹災証明電子交付等
- **実証フィールド**：半島振興対策実施地域（23地域）を想定
※自治体とのマッチングを実施（特定の自治体との共同提案も可）半島地域の課題解決に資すれば半島以外での実証も可

予算・スケジュール

- **予算規模**：1件あたり700万円程度（税込・実費精算）
- **スケジュール**：
（想定）

【募集期間】
2026年6月29日（月）～8月31日（月）

【結果通知】
2026年9月頃

【実証期間】
2026年11月頃～2027年2月頃

- **応募方法**：指定の提案書を事務局宛てにメール提出

本事業が想定する半島地域の課題、および解決に寄与する先進技術例

課題（大カテゴリ）	課題（小カテゴリ）	課題解決に寄与する先進技術例
半島地域の課題① <寸断しやすい物流>	主要道路の寸断・孤立	大型物流ドローン、自動配送ロボット、自律航行船、空飛ぶクルマ
	港湾の隆起・使用不能	水陸両用車・ホバークラフト
	被害状況の把握不能	悪天候・夜間観測可能なSAR衛星
	防災備蓄・物資管理の非効率	備蓄物資の在庫管理DX、需給マッチングシステム
半島地域の課題② <ライフライン寸断長期化>	道路啓開の遅れ	建機の遠隔操作
	断水	自律分散型水インフラ、排水の再生システム
	停電	オフグリッド電源
	通信支障	低軌道衛星通信
	燃料供給の途絶	燃料の分散備蓄・可搬供給システム
	トイレ・衛生問題	水不要の自動ラップ式トイレ
半島地域の課題③ <避難生活長期化・ 避難所高齢者対応>	分散集落の高齢者等の安否確認困難	IoTウェアラブル、AI安否確認コール
	居住スペース不足	移動式コンテナホテル、トレーラーハウス
	医師不足・医師の移動困難	スマホ等を活用した遠隔健康相談サービス、移動式医療ユニット